

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月30日

【評価実施概要】

事業所番号	290800036		
法人名	医療法人光和会		
事業所名	にこにこハウス金曲		
所在地 (電話番号)	〒035-0041 青森県むつ市金曲3-5-29 (電 話) 0175-23-1660		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 20日	評価確定日	平成 20年 1月 30日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 3月 25日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	4.7人

(2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 88.6 歳	最低 81 歳	最高 97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人光和会村中内科・心療内科医院・浪岡歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな住宅街にあり周囲に溶け込んでいる。新興住宅地であるが徐々に近所付き合いができてきて、広い前庭では家族連れの遊ぶ姿が休日には見かけられる。それを利用者がほほえましく眺めている。市内で行なわれるレガッタや綱引き大会に全員で参加し、職員同士の連携・コミュニケーションを大事にしている。理事長が医師であるため医療の対応が迅速に行なわれ、職員も安心してケアにあたっている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の要改善点として食事を一緒に楽しむことが課題であったが、今回は共に食事をして、また介助が必要な利用者にそっと寄り添い、その場の雰囲気壊さないよう配慮がなされており、改善されていた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価を職員間で点検し合い統一した理解と改善に努めており、自己評価を上手に活用していることがうかがわれた。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議がまだ開催されていないため、市町村と相談しながら開催することが望ましい。同一テーブルで話し合うことによって新たな発展やサービスの質の向上につながることを期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
重点項目	オンブズマンに依頼し利用者からの訴え・要望を聞き取りしている。目安箱を設置してはいるが活用されていない。家族の面会も多いので面会時の会話の中から要望や苦情を聞きだし記録にするような、様々な工夫を期待したい。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	近所の夫婦が来訪したり、小さな子供のいる家族がホームの広い前庭で遊んだりといい関係ができつつある。町内会の行事に参加しており、運営推進会議の委員として巻き込んだりして更なる連携を期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『笑って暮らせるのが一番じゃー』と楽しいイラスト入りで大きく掲げられている。職員が意見を出し合い利用者に一番必要とされる言葉を念頭に作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常の折に触れ理念を言葉にして笑い合い楽しい生活を試みている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会への加入、ごみ置き場の提供、又、近所の夫婦が遊びにきたり、子供たちに遊び場を提供し、少しずつではあるがふれあいを行なっている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員間で点検し合い統一した理解と改善に努めており自己評価を上手に活用している。		
5	6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議がまだ開催されていない。	○	市町村と相談しながらの開催が望ましい。地域の連携の素地ができていますので、近隣の家族を巻き込んだ委員の委嘱を依頼し近隣ならではの協力と意見を頂きサービスの向上につなげることを期待したい。
6	7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護受給者の入居等は連携を行い、機会あるごとに協議しサービスの向上に努めている。		
7	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	まだ、対象者はいないが積極的に学ぶ機会を持ち、学んで得たことを少しでも反映できる様努力している。		
8	9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間で話し合い、お互いに言葉使い、態度等を注意しながら防止に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約等に関する説明は居宅支援事業所と管理者で対応し、十分な説明により理解を得ている。		
10	12	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理に関しては出納をコピーし、行事の写真等と一緒に面会時等に報告している。		
11	13	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、個別的に対応し不満・苦情等を聞いている。	○	面会時に家族に聞いているがあまり寄せられていない。個別に聞くより推進会議等のほうが話やすいと思われるので活用してほしい。
12	16	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常勤3名は固定の勤務であるがデイサービスとローテーションを組んでいる。デイサービスと日常的に交流があり、顔なじみの関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の人材に合わせた研修、資格取得に取り組んでいる。		
14	18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業者からの訪問、入所の相談・依頼は積極的に行なっているが、グループホーム同士の交流は行なわれていない。	○	グループホームのネットワーク作りをし、相互訪問や情報交換、認知症ケアのレベルアップに繋がる事を期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人からはもちろんであるが家族の面会が多くその都度、本人の好みやなじんできたことを聞き出し、馴染める様工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活をコミュニケーションをとりながら行なう事により、利用者からたくさんのことを学び発見している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活暦、及び性格等を考慮し、本人の思いや希望を把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンス開催時、家族及び関係者より事前に聞き取り調査を行い、介護計画作成に役立てている。		
19	34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直ししており、状況に応じて随時見直ししている。	○	センター方式を活用するなどしてポジティブなプランの作成を期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じ、通院や送迎等必要な支援を行い、個々人が満足できるよう支援努力している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時の家族の同意により訪問診療を行なっている。理事長が医師のため、訪問診療を受けることができる。また、常時、医師、看護師等と相談でき疾病について早めの対応ができており、家族も安心している。		
22	44	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から家族との話し合いにより対応に努めている。また医師、看護師より指導・助言が得られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員同士が注意し合い対応に気をつけている。		
24	49	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々人の意思やペースを大切に、できるだけ希望にそえる様支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話を交えて楽しみながら食事をするにより一人ひとりの好み等を把握し、メニューに生かしている。一人ひとりのできる範囲で食事の準備や片付けをしている。		
26	54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その日の本人の体調・希望により声がけにて対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの力にあった役割が決まっており職員と一緒にこなしている。		
28	58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとに、職員と一緒に行動地へ出かける機会を作っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なっていない。またどういったことが身体拘束に当たるのか、話し合いの場や、研修の機会を持っている。		
30	63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアを行なっている。		
31	68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣住民へ協力をお願いをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取状況表の記入、活用によって個々に応じた対応をしている。		
33	75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作りそれに沿って対応している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花、観葉植物、水槽等の配置及び壁画にて季節感を取り入れ工夫している。 花、観葉植物の手入れがよくなされており利用者も自慢のようである。		
35	80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳のスペースを設置したり、ソファの配置を工夫して思い思いの場所でくつろげるようになっている。		

 は、重点項目。